

第2次富山市総合計画基本構想（案）

パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

○意見者数 5 名

○意見数 1 2 件

No.	意見	市の考え方
1	<p>コンパクトな街づくりの、より市民目線での取り組みをお願いします。持ち家率の高い富山で、我が家や農地を手放して街中居住に転換する事は、余り現実的ではありません。</p> <p>中心市街地を離れると、駅やバス停まで数十分かかり、電車やバスが1時間に1～2本と言う状態ですから、公共交通機関を使えと言われても、また使いたくても使えないのが現状です。</p> <p>電車と平行にバスを走らせても、少ない客を奪い合うだけです。富山駅から各地区に鉄道と、それに競合しないような基幹バス路線を配置、鉄道の駅や基幹バス停からその周辺の集落をコミュニティーバスで結ぶことで、乗り換え回数は増えるものの、長時間歩くことなく公共交通機関だけで市内のほとんどの場所に行ける、そんな交通体系がふさわしいのではないのでしょうか。</p>	<p>市では、高齢化の進展を見据え、車を自由に使えない市民も、日常の生活に必要な機能を享受することができる、歩いて暮らせるまちづくりを目指しているところです。第2次総合計画基本構想においては、P22（2）「安心・安全で持続性のある魅力的なまち」の政策2「コンパクトなまちづくり」の中で、（2）「歩いて暮らせるまちづくりの推進」や（4）「地域の生活拠点の整備」、（5）「交通体系の整備」を主要施策として位置付けております。</p> <p>ご意見のありました、交通体系の整備等については、今後基本計画及び個別の計画の中で検討してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>少子化に対応した小中学校の統合をお願いします。最近では魚津市が市内の小中学校を再編統合していますし、射水の大島や大門も昔から小中学校を集中させています。</p> <p>新庄や藤ノ木など児童数が増えている所に比べて、私の住んでいる水橋では、600人ほどの小学生に対して5つの小学校があり、それぞれの新年度の入学生が20人に満たないような状態です。</p> <p>しかし、水橋中部や三郷の改築や、上条と三郷のプール整備などにお金をかけているのは、とても非効率的な気がします。</p> <p>小学校を1校に統合しても学年4～5クラス、プールも1つで全天候型にでもできます。中学校も同じです。1校に統合すれば、今は選択の余地がない部活もバリエーションが増えます。小中一貫にすればもっと経費も削減できます。</p> <p>統合で必要となる通学の足には、上記のコミュニティーバスを活用することで、安心安全で積雪時も負担なく通学できると共に、コミュニティーバス自体も利用率や収益が上がり、効率的に稼働できるのではと考えます。</p> <p>改築したばかりの小中学校はすぐに統合はできないでしょうが、年季が入っている中学校2校の統合を先行で検討されればどうでしょうか。</p>	<p>小・中学校においては、一定程度の学校規模が確保されていることが望ましいとされており、例えば、複式学級が存在するとか、クラス替えができない規模の場合、学校ごとに教育上の課題について検証することが必要であると考えております。</p> <p>一方、小・中学校の再編を検討する際には、学校の歴史や伝統、地域や保護者の方々のご意見を踏まえ、時間をかけて、議論を重ねていくことが重要であります。</p> <p>仮に、統合を検討する場合においても、これまでに形成された地域コミュニティの一体性、継続性に十分配慮する必要があると考えており、地域の皆様のご意見にも耳を傾けながら統合の議論を進める必要があるものと考えております。</p>

<p>3</p>	<p>高岡や小矢部に流れた買い物客を呼び戻せるような環境をお願いします。ファボーレからイオンに、そしてアウトレットとどンドン買い物客は西にシフトしています。</p> <p>新幹線で金沢にまで行くほどの勢いです。総曲輪商店街、行くことはありません。大和が新しくなってもガラス美術館が来ても、普段の買い物で総曲輪周辺に行くことはないでしょう。本来は人が集まるターミナルに店ができます。</p> <p>富山駅前であれば通勤通学で利用する帰りに飲んだり食べたり遊んだりとできますが、わざわざ西町に移動してまで買い物するとは思えません。ウィンドウショッピングだけに駐車料金を払ったり、別途電車賃を使うことはないです。</p> <p>巨大な無料駐車場にシネコン、デパート、若者向けのブランドや、ラウンド1のような遊び場、フードコート、食品スーパーや安い衣料品店、子供向けのアスレチック、安いフィットネスなどの複合施設を富山駅周辺に作れば、西に流れた買い物客も取り戻せ、更には金沢からも客を呼び寄せることができるのではないのでしょうか。</p>	<p>P22(2)「安心・安全で持続性のある魅力的なまち」政策2「コンパクトなまちづくり」に「賑わいと交流の都市空間の整備・充実」を主要施策として位置付けているところであり、人々が集い、魅力あふれる事業を、今後、基本計画及び個別の計画の中で検討してまいりたいと考えております。</p> <p>なお、まちの中心部へ人を呼び込むため、市ではグランドプラザやガラス美術館、図書館本館などの公共施設をまちなかに整備してきたほか、今年5月には、8つのスクリーンを備えたシネマコンプレックスなどが入る再開発ビルが総曲輪西地区に完成することから、まちの一層の賑わい創出につながることを期待できると考えております。</p>
<p>4</p>	<p>私は富山市の新庄北地区に居住しておりますが、新庄地区にも児童館が欲しいと思っております。</p> <p>今6歳と3歳の子供がおりますが、天気の良い休日などは公園などで遊べますが、雨天や、特に冬場の遊び場に苦労しております。東部児童館まで時々遊びに行くこともありますが、少し遠く、不便さを感じております。</p> <p>また、以前は丸の内の児童館にも時々遊びに行っておりましたが、閉鎖されてしまって、とても残念に思っております。丸の内の児童館は、大型遊具もあり、子供達も気に入っていたので非常に残念です。</p> <p>私は県外から5年前に転入してきましたが、県内出身の友人も富山は天気が悪いと遊ぶ場所がなくって本当に困ると言っております。悪天候の時だけでなく、子供たちが自転車に乗って遊びに行けるような場所として、また、親同士の交流の場としても、新庄地区にも是非児童館を作ってほしいです。</p>	<p>現在の総合計画後期基本計画では、児童館の整備について、総合計画事業として位置付けており、老朽化している児童館の改築など、児童の健全な遊び場の確保に努めているところであります。</p> <p>第2次総合計画基本構想においても、P21に「出産・子育て環境の充実」を主要施策として位置付けており、児童福祉施設の整備・充実についての具体的な事業等については、基本計画及び個別の計画の中で検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>5</p>	<p>教育政策に関して</p> <p>文科省がすすめる「全国学力テスト」は、教育現場に様々な歪みをもたらしている。全国学力テストで測れる「学力」は一部分、一側面にすぎないにもかかわらず、一斉・悉皆で行われるため、数値としての結果が一人歩きして、子ども・教師を競争に追い込み、学校の序列化をもたらす。テスト対策のための準備教育は授業を貧弱にし、子どもたちから学ぶ喜び・意欲を奪い、学力向上にはつながらない。本県では、従来から、教職員の研修団体による小教研・中教研学力調査も行われており、さらに富山市が自治体独自のテストを上乗せして行うことでテスト漬けにし、子どもや教師に強いストレスを与えている。</p> <p>富山市は、全国学力テストに参加せず、独自テスト</p>	<p>本市では、子どもたちの個性を大切にしながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を目指し、「生きる力」の育成を通じて、自主性や創造性を育てる教育の推進に努めております。</p> <p>第2次総合計画基本構想においても、P21に「学校教育の充実」を主要施策として位置付けており、具体的な事業等については、基本計画及び個別の計画の中で検討してまいりたいと考えております。</p>

	<p>ともやめ、現場の自主的な教育活動の支援、教育条件の整備のために必要な施策を行うべきである。</p> <p>また教育は「人格の完成」のためにすすめられるものであり、何かに貢献する「人材」づくり、という発想はやめるべきである。どの子ども大切に、基礎学力をつける人間教育のなかで成長していく。</p>	
6	<p>歴史・文化と観光に関して</p> <p>戦後 70 年の昨年は、全国的にも、富山でも、過去の戦争を見つめ、二度と戦争を繰り返さぬために様々な取り組みが展開された。</p> <p>富山大空襲は、地方都市としては最大規模の約 3000 人の死者と約 8000 人の負傷者を出したが、そのことが未だに多くの市民・県民の共通認識としては十分とはいえ、体験を語ることができる人も年々減ってきているなか、近い将来、風化していく危険性がある。</p> <p>北陸新幹線の開通で観光面での企画や取り組みがなされているなかで、金沢と比べ歴史的な存在感が希薄に感じられる理由は、大空襲で市街地が丸焼けになったことに起因する面が少なくない。富山県の歴史のなかでも魚津市での米騒動関係史跡保存や県によるイタイイタイ病資料館建設などの努力が重ねられているなか、富山市でも富山大空襲の歴史と事実について子どもと市民の平和学習の拠点となる施設・碑を建設することは、次世代に不再戦と平和の大切さを伝えることができるとともに、県内外の市民が富山市の歴史への理解を深めることに貢献できる。「戦災復興記念天女の像」では全く不十分で、富山大空襲の平和博物館（資料室）、空襲犠牲者の氏名を刻む碑、爆撃平均中心点や模擬原爆投下地の碑などの設置や遺跡・遺物・戦争資料の保存をはかる取り組みをすすめることが緊要である。</p> <p>「ふるさと教育」による「愛着や誇り」と言うが、「愛着」や「誇り」は押し付けるものでない。地域の歴史の「光」だけを描き、「影」を隠しては、「ふるさとへの愛着と誇り」は、偏狭でゆがんだものになってしまう。富山の戦災の歴史にしっかり向き合うことが求められる。</p>	<p>本市では、市民が、自分のふるさとに誇りや自信、愛着を抱くこと、すなわち「シビックプライド」の醸成が重要であると考え、「AMAZING TOYAMA」のキャッチフレーズの普及を図るとともに、富山の自然や風景を撮影したフォトコンテストや政策参与による写真教室を開催するなど、様々な取り組みを行ってきたところであります。</p> <p>また、市民が富山の戦災と復興の歴史に向き合うことは重要なことと認識しており、本市では昭和 20 年の富山大空襲のあった 8 月 1 日に、戦災からの富山の復興・発展に努力されたすべての先人の功績をしのび感謝するとともに、今後の平和と発展を誓うことを目的として「富山市民感謝と誓いのつどい」を毎年開催し、空襲体験記の朗読や写真パネルの展示などを行っております。このような事業を継続していくことが、史実を後世に伝える大切な取り組みであると考えており、引き続き、未来を担う子どもたちに、市の歴史及び平和の尊さの継承に努めてまいります。</p>
7	<p>行政、防災無線の整備が必要。細入地区で言えば、施設が古いため故障したときに問題あり。各家庭の受信機で乾電池部分の故障したものが多い。市全体の計画はどうなっていますか。停電でも対応できますか。</p>	<p>本市では、現在の総合計画後期基本計画に基づき、防災行政無線のデジタル化を進めており、これまでに富山地域での整備が完了したところであります。</p> <p>富山地域以外の地域における防災行政無線のデジタル化につきましては、第 2 次総合計画基本計画に位置づけ、引き続き、順次整備を進めてまいります。</p>
8	<p>有害鳥獣対策を推進、実行してください。市街地では、カラスが問題になりましたが、旧細入、下夕地区では、熊、猪、羚、鹿、猿が主な害獣です。25 年間は楡原で、熊以外の被害は皆無でした。現在は電気柵により、作物については小康を得ていますが、猪は山の斜面を掘返し、山崩れの要因になりかねな</p>	<p>有害鳥獣による農作物や人身被害の対策については、現在の総合計画後期基本計画で位置付けております。</p> <p>第 2 次総合計画基本構想においても、P22 に「暮らしの安全を守り安らぎを与える森づくり」を主要施策として位置付</p>

	<p>いし、猿は食を求めて民家に近付き人に危害を加えることとなります。人間を恐れなくなり、群れが増えれば猿はやむなく市街地にも出没することとなります。鹿もその内増えると思います。</p>	<p>けており、具体的な事業等については、基本計画及び個別の計画の中で検討してまいりたいと考えております。</p>
9	<p>健康寿命の推進についての施策を、お願いします。年々日本人の寿命が伸びているのは喜ばしいことですが、残念ながら寝たきりの人も多いと言うことです。煙草の喫煙は身体に百害有って一利無し。そして非喫煙者の健康までも害します。煙草による市の収入は昔2億円と聞いたことがあります。(今は大分減っていると思います)が、煙草追放による医療費の削減は明らかです。私も現在どうか健康であるのは、30才台の初めに禁煙したからと、実感しています。環境にやさしい都市を標榜する本市として、煙草の煙のない環境を強力に推進してください。健康寿命を伸ばすため、禁煙、趣味を持つ、適度な運動、健康診断受信をスローガンに。</p>	<p>健康寿命を延ばし、いつまでも健康で安心した生活を送ることができるよう、健康で健全に暮らす元気なまちづくりを、現在の総合計画後期基本計画で位置付けております。</p> <p>第2次総合計画基本構想においても、P21に「いつまでも元気で暮らせる健康づくり」を政策として位置付けており、具体的な施策等については、基本計画及び個別の計画の中で検討してまいりたいと考えております。</p>
10	<p>お出かけ定期については、大変喜ばれていますが、利用時間の制限をどうか出来ないかという声を良く聞く。17時の制限では富山駅発15時半が最終である。制限時間の解除が一番だが、時間を越えた場合は100円～200円位の追加料金を払っても良いと思います。</p> <p>後期高齢者の細入、下夕地区から旧大沢野地区までのバス定期券発行についてお願いします。現在下夕地区についてはシルバータクシーの利用がなされているが、両地区には医療施設がなく、医師の回診も殆どなされないため、病気の時は医療施設のある大沢野町へゆかざるを得ない。そのため1回200円ぐらいで利用できる定期券の発行をお願いしたい。バスの現状を見ると、同区間は乗車率は悪く、買物や用事等に利用することをかんがえるとバス会社の収入増にもなると思う。</p>	<p>お出かけ定期券の利用時間の延長やバス定期券発行に関するご提案につきましては、ご意見として今後の基本計画や個別の計画策定の参考とさせていただきたいと考えております。</p>
11	<p>理解できない英語が時々出てきます。折角の文章が一般の人に理解できるのでしょうか( )内に意味を記しているものも有りますが、P14にシティプロモーションの推進、と有りますが意味がよく分かりません。学術用語でしょうか。プロモーション＝推進、では。P14、25にブランディングと有りますが良く分かりません。プランニング(設計、計画)なら分かります。学術用語なら( )内に日本語の意味を入れられたら如何でしょう。</p> <p>このような企画案では私は「です」よりも「であります」「があります」のほうが好きです。最初のほうはP9のみ「です」でしたが、P12からは「ことが必要です」が盛んにでてきます、「必要があります」のほうが好きです。</p> <p>序に、今後行政の機関の名称は簡潔におねがいます。例えば、今度の地区センターの名称、何故中核型なのですか、「中核地区センター」のほうが簡潔です。合併時に付けられた名称、総合行政センターも総合が煩わしいのです。砺波市は単に「行政センター」でした。</p>	<p>災害や高齢化などの様々な危機や課題に対し、可能な限り早急に回復する、あるいは乗り越える強靭さを持つことを目指す都市を「レジリエント・シティ」として、平成26年に、ロックフェラー財団が主導する100のレジリエントシティプログラムから、富山市が日本で唯一選定されました。そのため、「レジリエント・シティ」という言葉を使うことができるのは、日本では、現在、富山市のみであり、基本構想においても、「レジリエンス」という表記を使用しております。</p> <p>このように富山市のブランドイメージを形作るために、あえてカタカナ表記を使用しておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、カタカナ表記のものについては、文末に用語説明を設けるようにしております。</p>

12	<p>住民の健康寿命を延ばし、重症化予防のため、また子ども・妊産婦・アレルギーなど感受性の高い方を含めた非喫煙者を受動喫煙の危害から守るために、健康の基本として、この課題の重点施策をよろしくお願いします。</p>	<p>市民一人ひとりが主体的に生活習慣の改善や健康の保持増進に取り組めるよう、地域、家庭、企業が連携した健康づくり活動の推進に努めることを、現在の総合計画後期基本計画で位置付けております。</p> <p>第2次総合計画基本構想においても、P21に「いつまでも元気で暮らせる健康づくり」を政策として位置付けており、具体的な施策等については、基本計画及び個別の計画の中で検討してまいりたいと考えております。</p>
----	--	---